

平成28年度 秋季特別展覧会 八代の歴史と文化26

写真家・麦島勝の世界

—ただ、ひたすら、撮り続けた—

10/21 [FRI] ▶ 12/4 [SUN]

八代市立博物館未来の森ミュージアム

お昼どき (昭和23年 坂本町)

あの頃が、 いま蘇る

麦島勝氏は、昭和2年(1927年)本市に生まれました。県立工業学校(現熊本県立熊本工業高等学校)機械科を卒業、昭和20年(1945年)の復員後は、技術者として工場に勤務する傍ら、余暇を利用して趣味の写真を撮り続けました。全日本写真連盟熊本部委員、熊日フォト・サークル運営委員を歴任し、現在もフォトざぼん会長や写真連盟代表を務めるなど、地域を代表する写真家として活躍。平成27年、県より第25回くまもと県民文化賞、八代市より新市誕生10周年特別表彰、文部科学省より地域文化功労者表彰を受けました。

麦島氏が捉えた被写体は、美しい風景でも決定的な瞬間

でもありません。山村や漁村、街に暮らす人々のあたり前の姿ばかりです。しかし、「日常」という視点でシャッターを切り続ける麦島氏の写真には、戦後70年間に及ぶ世相や地域の特徴が見事に刻み込まれているのです。

本展覧会は、麦島氏から寄贈いただいた4000点を超える写真の中から、八代地方を中心に、熊本や阿蘇、天草、人吉・球磨などで昭和20年代から平成にかけて撮影された164点を選び、麦島氏自身の言葉を添えて紹介するものです。

熊本地震に見舞われた我々は、日々の何気ない暮らしの大切さを痛感しました。麦島氏の写真は、我々が失いかけていた大切なものを、きつと思ひ出させてくれることでしょう。

■観覧料

一般 600円(480円)
高大生 400円(320円)
中学生以下無料

※()内は20人以上の団体料金
※11月3日(木)(文化の日)は無料開館

■開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■休館日

毎週月曜日

■特別講演会

いずれも午後2時～3時30分
(開場:午後1時30分)

会場:八代市立博物館講義室
※聴講無料・定員80人(事前申込不要)

10月29日(土)

「麦島勝ワールドと団塊の世代」

講師:前山 光則(作家)

11月 5日(土)

「麦島写真はなぜ人の心を魅了するのか」

講師:石原 浩(博物館学芸員)

市立博物館未来の森ミュージアム ☎34-5555 <http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>